

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年6月13日（月）～平成28年6月19日（日）〔第24週〕の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

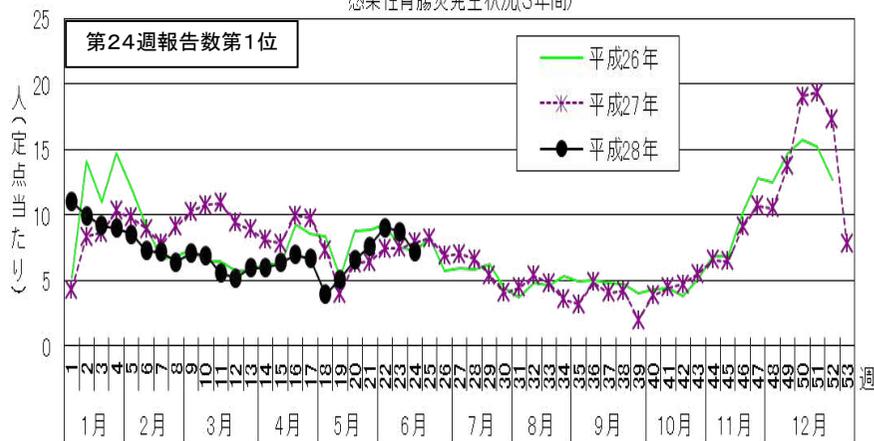
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.16人と前週（8.73人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.78人と前週（4.35人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

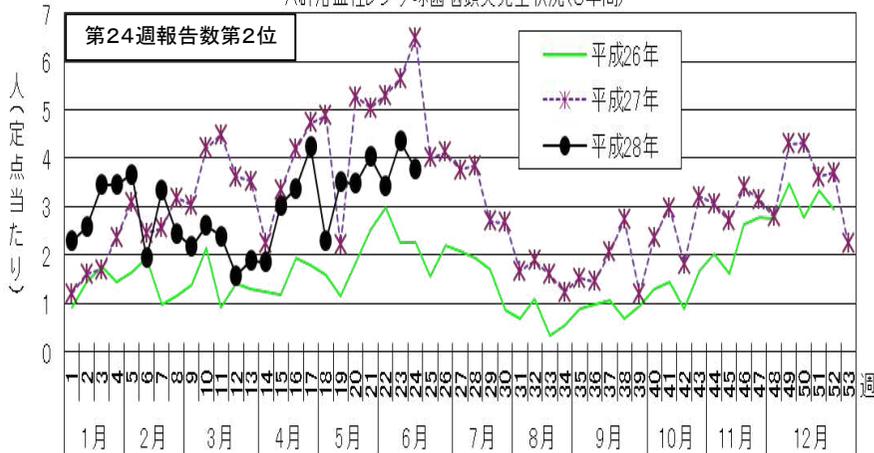
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.78人と前週（1.89人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～蚊が媒介する感染症に気をつけましょう～

蚊が媒介する感染症には、昔から知られている日本脳炎のほか、輸入感染症としてデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症などがあります。症状は様々で、同じ時期に流行する他の感染症と見分けが付きにくいこともあります。

背中白いスジが特徴

輸入感染症とはいえ、国内に生息するヒトスジシマカ（ヤブカの仲間）が媒介となる感染症もありますので、これからの季節は蚊の対策が重要です。



(ヒトスジシマカ)

増やさない！



幼虫の発生源をなくす！！

- ◆ 不要なものは廃棄し、溜まった水は週に一度ひっくり返しましょう。
- ◆ 放置された空き缶、ペットボトル
- ◆ 雨ざらしのバケツ、おもちゃ
- ◆ 水の溜まった植木鉢、埋設型散水栓
- ◆ 水の溜まったビニール、古タイヤ



さされない！



- ◆ やぶ、草むらは刈り取る
- ◆ 網戸、蚊帳で侵入を防ぐ
- ◆ 外での作業時は長袖・長ズボンを着用
- ◆ 次の成分を含む虫除け剤をこまめに塗る
 - DEET (N,N-ジエチル-3-メチルベンズアミド) 注) 生後6か月以上に使用
 - イカリジン (2015年に認可)